

# 有害プランクトン注意報

## ( H28 No.1 - ① )

平成 28 年 5 月 19 日  
千葉県水産総合研究センター

東京湾の内湾北部海域で、ヘテロシグマ属のプランクトン (*Heterosigma akashiwo*) が、注意を必要とする基準を超える密度で確認されました。

平成 28 年 5 月 18, 19 日の調査において、有害プランクトンの *Heterosigma akashiwo* (ヘテロシグマ属) が確認されました。

今後、増加する可能性がありますので、養殖魚・蓄養魚の管理には十分注意してください。

- ・ 確認 日 平成 28 年 5 月 18 日
- ・ 確認 海域 東京湾内湾北部海域
- ・ プランクトンの種類 *Heterosigma akashiwo*

注意基準を超えた調査地点	プランクトン密度 (細胞数/ml)
浦安	1,920
St.15	1,200
注意基準密度	1,000
警戒基準密度	10,000

- 1 本種は楕円形をした小さなプランクトン (10~30  $\mu\text{m}$ ) で、2本の鞭毛を持ち、回転しながら泳ぎます。主として春~秋に出現し、梅雨の時期には赤潮を形成することがあります。  
本種が、海水 1ml あたり 10,000 細胞以上に増えると、生簀の養殖魚が死亡することがあり、数日停滞した場合には天然魚にも被害が及ぶことがあります。
- 2 内湾北部海域を中心に場所によって密度が高くなっています。(図 1)。
- 3 海況の変化や魚の動きに十分注意し、必要に応じて餌止め等、早めの対応をお願いします。
- 4 赤潮等、海域の異変を発見した場合は水産総合研究センター、漁業資源課又は水産事務所に連絡してください。

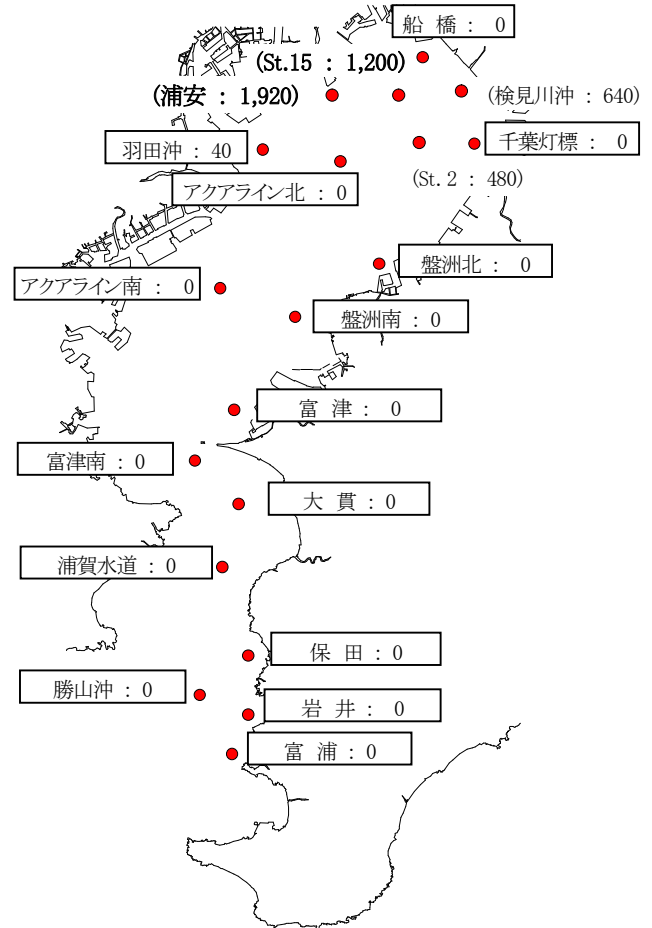


図 1 調査地点別の密度 (細胞数/ml) ( )内の地点は臨時調査地点です。

担当 千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所  
電話 0439-65-3071  
FAX 0439-65-3072